

## 海や自然への思い大切に

山田町は三陸沖の豊かな海洋生産力と自然環境に恵まれ、養殖業から捕鯨業まで幅広い漁業が興り現在に至っています。しかし、近年の地球規模の温暖化や海洋汚染など、海と漁業をめぐる問題は後を絶ちません。



鯨と海の科学館館長  
芳賀 昭義

平成4年に開館した当館は、わたしたちが将来にわたり海と共存していくため、海への理解を深めることができる施設です。館内の常設展示室に展示されている巨大なクジラの骨格標本は、商業捕鯨最後の漁期(1987年)に三陸沖で捕獲され、旧日東捕鯨(株)大沢事業所で解体された巨大なマッコウクジラ(体長17.6m)の骨格を復元したものの。この標本には、製作に参加した当時の町内小中学生の海や自然に対する思いが込められています。これらから海の神秘を少しでも感じ取っていただければ幸いです。

## 鯨と海の科学館ご利用案内

### 所在地

山田町船越第7地割50番地1

### 開館時間

午前9時～午後5時  
※最終入館時間は午後4時半

### 休館日

毎週火曜日(祝日の場合は翌日)  
※夏休み期間は休まず開館します。  
※冬季(12月1日～3月31日)は休館しますが、事前に団体(おおむね20人以上)での予約申し込みがあれば随時開館します。

### 入館料金

	個人	団体
大人	610円	400円
高校・大学生	400円	210円
小・中学生	310円	150円

※団体料金は20人以上に適用  
※毎週第2・第4土曜日は町内の小学校～高校の児童・生徒とその保護者(子供と同伴)を対象に、入館料が無料となります。

### 問い合わせ

☎84-3985 ファクス84-3986

## 多賀谷真吾写真展

～豊かなるリアスの海岸風景～



盛岡市に在住し、岩手の自然を撮り、続ける写真家、多賀谷真吾さんの写真展「豊かなるリアスの海」

岸風景」が開催されます。兵庫県出身で、現在も関西の大学で教鞭を執る多賀谷さん。9年前から本県で写真撮影を続け、昨年1月には盛岡市に転居、本県の山岳や海など自然景観をテーマに活動しています。今回展示するのは、山田湾や船越半島周辺の海岸風景などの作品20点。切り立った崖が連なる絶景や海と森が一体となった風景などが収められています。ここに暮らすわたしたちもあまり見ることのない自然の素晴らしさ。多賀谷さんの作品を通して見つめ直してみませんか。

▽期間 7月4日～9月27日  
▽場所 館内特設展示室



際に受付でお申し込みください。ただし、30人以上の団体の場合は事前に予約が必要です。

### 海藻のしおり

鯨館職員が採集した色とりどりの海藻を使い、しおり作りを体験できます。

▽所要時間 約20分  
▽体験料 1枚につき100円

### 貝のアクセサリー

山田湾で拾い集めたムラサキイガイを磨くと、まるで宝石の

ような輝きに変化します。なお、仕上げは「海のしずく工房」で行い、10日程度でお手元にお届けします。

▽所要時間 約40分  
▽体験料 それぞれ1個につきキーホルダー：500円  
ペンダント：700円  
※送料は3個まで150円

◆ ◆ ◆  
皆さんは最近、鯨館に行ったことはありますか。  
自然環境の悪化が叫ばれるこの時代、鯨館での体験や学習は、身近な海の大切さや、私たちが海とのかかわりを見つめ直すきっかけになるのではないのでしょうか。

今年の夏はご家族そろって鯨館に出掛けてみませんか。